

平成25年度京都市民健康づくり推進会議摘録

1 開催日時

平成26年3月27日（木）午前10時30分～正午

2 開催場所

本能寺文化会館5階 醍醐ホール

3 摘録

【報告】京都市民健康づくり推進会議設置要綱の改正について

【事務局】（資料3により説明）

【議長】何か御意見や御質問は？

本件は、事務的な内容で、会議の運営や重要性に影響を与えないと思うので、質疑・意見は不要かと思う。

この件について、事務局にお任せするという事で会議を進行する。

【参加者】（特になし）

【報告】京都市民健康づくりプラン（第2次）普及啓発シンポジウムの開催報告について

【事務局】（資料4により説明）

【議長】何か御意見や御質問は？

【参加者】（シンポジウムに参加しての感想を求められたため、以下のとおり発言）

<市民委員>

・当日のパネルディスカッションに参加したところ、非常に緊張したので、満足に話すことができなかった。

・シンポジウムをとおして、たくさんの方が健康に関して気にされているということがよく分かった。

・来られた方が色々な形で参加されたことは大変良かったと思う。

・参加者からシンポジウムの時間が長かったという意見を受けたので、パネルディスカッション等の時間を調整し、全体の時間を短くすればよいのではないか。次回、そのあたりの調整等について期待している。

<市民委員>

・伏見の健康づくりサポーターのブースを作っていたいたり、健康指導士と相談しながら、軽い体操をさせていただいたり、楽しむことができた。

・思いのほか、色々な人から声かけてもらい、楽しかった。

【議長】この件について、何か御意見や御質問は？

確かに2時間半は長いという印象を持たれる方もいるが、私はそこまで思わ

なかった。

【報告】 平成25年度の取組状況及び平成26年度の取組予定について

【事務局】 (資料5～11により説明)

【議長】 何か御意見や御質問は？

【参加者】 特定健康診査の受診率について、今年はどうのようにして上げていくのか。

受診率が大変低い点については、全国的な課題であることは認識しているが、例えば目標値の設定をして、毎年度評価を行い、より具体的に数値目標を達成できた又はできなかったなどの点から、どういうことが問題点なのか把握できるのではないかと考えている。

【事務局】 目標値については、資料11の1ページ目にお示ししているとおり、第1期の5箇年の計画で、25年度の30%から29年度の60パーセントの目標設定値となっている。これは国の指針に合わせた形になっており、なかなかその目標値を達成できる自治体はない。受診率向上は、非常に苦慮しながら取り組んでいるので、こういった機会に皆様の知恵を拝借し、取組を進めてまいりたいと考えている。

【議長】 京都市として答えられるかどうか分からないが、メタボリックシンドロームの診断基準は腹囲の問題など、どのようなものとなるのか。

国が最終的に保険者に対し、ペナルティを課するという目標をスタート時に言っていたが、そういう方向性について、現時点でどうか。分かる範囲で教えてほしい。

【事務局】 診断基準については、手元に資料がないため、明確に答えることができない。ペナルティについては、当面ないと聞いている。

【議長】 メタボリックシンドロームについては。

【事務局】 国レベルで平成29年度までの目標があるが、おそらく見直しがあるのではないかと内々で聞いている。それが数値目標の見直しなのか、メタボリックシンドローム自体の見直しなのか、情報が錯そうしており、注視する必要があるが、来年度、突然変更されることはない。現在、厚労省内でワーキングチームが立ち上がっており、そのレベルで見直しを検討しているのではないかと個人的には思う。そのため、見直しに当たり、迅速に対応できる体制をとっておく必要がある。京都市独自でメタボリックシンドロームの基準を変更することはおかしいので、情報を把握次第、対応できることが重要ではないかと個人的には思う。

【参加者】 26年度に実施される特定健康診査について、春期と秋期に振り替えることは非常にありがたいことだと思っている。暑い時期など、高齢者等が診査を受けに行く途中で熱中症に掛かるなどの危険性があるので、以前からもっと早い時期に実施してほしい。

・扇風機の活用

できる限り数多く活用してほしい。

- ・電子メール支援

特定健診を受ける人で電子メールを見る人はほとんどいないのではないかな。

もう少し検討してほしい。

- ・お知らせの周知文

配布しても字が小さく、見にくいため、内容を読みたくないなど思われているので、この点について少し工夫してほしい。

- ・受診プレゼント

実際に欲しいと思う人がいるのか疑問に思う。

- ・実施会場

実施会場の決定は、どのような形で最終的に決定するのか。

- ・「こくほだより」

年2回の配布後、しっかり読んでもらっているのか疑問に思っている。集団健診を全員に受診するよう指導する立場で周知はしているが、なかなか聞き入れてくれない。

以上について、今後、診査の時期が変わることにより、少しは変わってくるのではないかと考えている。

【事務局】 保協には、集団健診など、日頃から現場で御尽力いただき、ありがとうございます。

特定健診については、現在、集団健診と個別健診とを実施しているが、学校での集団健診など、皆様の身近で実施しているものである。

会場については、小学校を使用する関係から、実施時期の問題は、小学校との調整が課題となっている。

待っていただく合間の時間については、各医師会の先生と相談しながら、細部にわたって配慮を要する必要があると思っており、扇風機の問題もそうだが、より多くの人に受診していただけるよう環境の改善に努めてまいりたい。

周知文、電子メールの問題など、一人でも多くの人に継続的に受診いただけるよう、色々な取組を進めてまいりたいので、そのあたりの御意見をお聞かせいただきながら実施について検証し、進めてまいりたい。

会場の決定については、各地区医師会、保協の方々を含めて各行政区ごとに担当者と協議しながら、地元の御意見を踏まえて、進めてまいりたい。

各年度当初及び年度終了時に、各行政区の関係者と意見交換しながら、反省点を踏まえて、次年度に向けて、相談しながら、実施していく。

今後ともよりよく進めてまいりたいので、よろしく願いしたい。

【報告】 各構成団体の取組報告（資料1 2により説明）

(終了 11 : 55)